

平成30年度事業計画

I 事業方針

1 MICE事業部門

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」においては、「2030年にはアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築く」という目標が掲げられ、多くの人や優れた知見、投資を日本に呼び込む重要なツールとしてMICE(*)が位置付けられた。

平成25年6月11日に観光立国推進閣僚会議で決定された「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」では、MICEの誘致は主要な柱の一つとされ、平成28年3月30日に内閣総理大臣が議長を務める「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」が策定した「明日の日本を支える観光ビジョン - 世界が訪れたい日本へ -」においても、その施策としてMICE誘致の促進が示されており、2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人・訪日外国人旅行消費額8兆円という新たな目標に向け、政府が一丸となり、また官民を挙げての取組みが行われている。

平成27年6月に観光庁は、MICE誘致の国際競争力の強化のため、「グローバルMICE強化都市（現グローバルMICE都市）」として千葉県と千葉市を選定して集中的な支援プログラムを実施しており、当財団も積極的に参画してきたところである。

さらに、コンベンションビューローの機能強化に向けた取組みを加速化するため、平成29年11月にグローバルMICE都市等で構成される「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」を設置した。

また、千葉県が平成27年3月に策定した「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」や、平成27年10月に策定した「千葉県地方創生『総合戦略』」においては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とする事前キャンプや国際大会等の誘致に取り組むとともに、MICEの誘致も積極的に進める方針が示されている。

そこで、当財団は、これらの国・県等の政策の方向性に沿い、ブランディングやステークホルダー連携等を強化し国内外のMICE誘致活動を積極的に推し進めていくとともに、千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業により事前キャンプ・国際大会等の誘致やスポーツツーリズムに取り組んでいく。さらに、千葉県フィルムコミッション運営事業により千葉の魅力について映像を通じた情報発信を行うとともにフィルムツーリズムにも積極的に取り組んでいく。

そして、今年度は、当財団の第5次中期計画の最終年度を迎えることから、同計画の目標の着実な達成に向け、千葉県、国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）、関係市町村や幕張メッセ、かずさアーク、県内のホテルなどの施設、県内の大学、病院、研究機関や経済界と連携し、「オール千葉」による活動に取り組んでいく。

(*)MICE (マイス)

企業等の会議 (Meeting) , 企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel) , 国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention) , イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

2 国際交流部門

近年のグローバル化の進展により世界規模の活動が恒常的なものとなっており、国をまたいだビジネス、観光、就労、留学などが活発化している。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定なども相まって、訪日外国人旅行者数についてみると、平成25年には約1,036万人であったものが、平成29年には過去最高の約2,869万人を記録している。

千葉県内に在留する外国人数の推移についてみると、平成26年末には113,811人であったものが、平成29年6月末には139,823人となっており、増加の傾向にある。一時的滞在のほか、長期的滞在や居住なども合わせた千葉県内に在留する外国人の増加に伴い、千葉県における国際交流・国際協力の促進や、多文化共生社会づくりが重要性を増している。

そこで、当財団は、千葉県における中核的な機関として、市民レベルで主体的な活動を行う民間交流団体をはじめ、ボランティア、地域の国際交流協会、大学、行政機関等と連携を強化し、県民等による国際理解、国際交流活動や開発途上国等の発展を支援する国際協力活動の促進、在住外国人が地域社会の一員として県民と相互理解を図りながら暮らしやすい生活を送ることのできる多文化共生社会の実現等を図っていく。

特に2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、支援体制の充実などを図るため、ボランティアの養成のための研修に取り組むとともに、国際スポーツ大会へのボランティアの参加を推進していく。

II 実施事業

1 オール千葉による MICE 誘致・支援の実施

(1) MICE 誘致の新たな展開

ア MICE 関連目標数値

関係機関（MICE 施設、千葉県、国際会議観光都市、大学、研究機関等）との連携、協働により MICE の誘致・支援を実施する。

【MICE 誘致件数の目標値】

年度	MICE 誘致件数	うち JNTO 基準(*)を満たす 国際会議の誘致件数
平成 30 年度	100 件	75 件

(*) JNTO 基準の国際会議…次の(1)～(4)を全て満たす会議

- (1) 主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象）
- (2) 参加者総数：50 名以上
- (3) 参加国：日本を含み 3 か国以上
- (4) 開催期間：1 日以上

(*) JNTO

Japan National Tourism Organization（独立行政法人国際観光振興機構（通称日本政府観光局））の略。海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

(ア) MICE 誘致件数の目標の達成

MICE 誘致件数の目標を確実に達成していくため、学会・協会、有望大学等国内外の国際会議主催者等の新規顧客を開拓するとともに、ネットワーキングにより幅広く MICE 関連の情報収集を行い、主催者のニーズを満たす積極的な誘致・支援活動を展開する。

(イ) 重点誘致 MICE の設定による誘致活動

次に掲げる「重点誘致 MICE 採択基準」のいずれかに該当する MICE については、特に積極的に誘致を行うこととする。

- 国際会議総参加者数 600 人以上かつ外国人参加者数 120 人以上
- ICCA 基準(*)を満たし、かつ、JNTO 基準を満たす 300 人以上の中・大型国際会議
- 国際インセンティブ旅行 総参加者数 500 人以上
- 国・政府間・国際機関の会議
- 千葉県及び国際会議観光都市等の関係市町村の施策に合致するもの

また、「千葉県地方創生『総合戦略』」（平成 27 年 10 月）においては、千葉県内での国際会議開催件数として平成 31 年度に 100 件という指標が掲げられている。その指標が達成されるように、当財団としても積極的に誘致活動を展開する。

(*) ICCA 基準の国際会議

国際機関・国際団体（各国支部を含む）、または国家機関・国内団体（各々の定義が明確でないため、民間企業以外は全て）が主催する会議で、以下の条件を満たしていること。

- ①参加者総数が 50 名以上
- ②定期的で開催される（1 回だけ開催されたものは除外される）
- ③3 か国以上での会議持ち回りがある

(*) ICCA

International Congress and Convention Association（国際会議協会 本部アムステルダム）の略。1963 年に創設された国際会議に係わる業界関係者の知識と人脈を構築し、世界各国で国際会議を開催するための情報交換を目的とする団体。現在、世界 87 カ国の約 900 団体の政府観光局、コンベンションビューロー、会議施設、ホテル、リゾート等の業界関係者が所属している。

イ 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業（受託事業）

2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプや国際大会等の誘致を進めるため、県内のスポーツ施設、宿泊施設等を紹介する一元的窓口の運営事業（スポーツコンシェルジュ運営事業）を千葉県から受託して、スポーツツーリズムによる千葉県への来訪者増加を促進する。

(ア) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致

千葉県内での事前キャンプ等の実施を検討している各国オリンピック委員会等と、市町村・JOC 等の関係団体との調整を図ることにより、県内への誘致を支援する。

(イ) 国際スポーツ大会等の誘致

2019 年はアジアにおけるオリンピック・パラリンピック種目の予選会が行われることから、大会誘致を希望する市町村等と連携して誘致を進める。

また、2019 ラグビーワールドカップのキャンプ地等に関する情報収集・提供を行い、誘致を希望する市町村を支援する。

(ウ) 世界女子ソフトボール選手権の事前キャンプ及び大会支援

組織委員会やキャンプ地の市町村等と連携して、大会及び事前キャンプの運営を支援する。

(エ) サイクルツーリズムの推進

サイクリングと観光を組み合わせた地域活性化策として注目されている「サイクルツーリズム」を推進する市町村と、関係団体等との調整を図ることにより、スポーツツーリズムの推進につなげる。

(オ) ホームページ等を活用した発信力の向上

ホームページへの広報動画の掲載、関係団体のロゴや施設等の情報掲載を行うことにより、財団ホームページへの関心を高め、発信力の向上を図る。

また、メールマガジンの定期的な刊行により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成に役立てるとともに、必要に応じて紙媒体による広報を行う。

(カ) スポーツに関連する国際会議の誘致

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に関する IF（国際競技連盟）の国際会議等について、JOC 及び NF（国内競技連盟）と誘致を希望する市町村との調整を図ることにより、誘致を支援する。

(2) 誘致競争力の強化

ア MICE 誘致活動

経済的効果、ビジネス機会及びイノベーションの創出に大きく寄与する MICE を誘致することで、需要の拡大と地域の活性化、MICE 関連産業の発展及びグローバル MICE 競争力の強化を図る。

(7) 国内誘致活動

a 主催者訪問と視察受入れ

大学、学会、協会、研究機関、PCO（会議運営業者）等のキーパーソン（開催地の選定に権限を持つ MICE 開催地決定権者）を直接訪問し、千葉県での MICE 開催を強く働きかける。

また、キーパーソンによる視察を積極的に受け入れ、関係機関と連携した「オール千葉」のホスピタリティーを推進し、MICE 開催地としての千葉県の魅力を直接体験する機会等を提供することにより、開催に結び付ける。

b 県内大学教職員・研究者に対する MICE セミナー・視察会の実施

会議の主催者となり得る大学の教職員や研究者などに対し、MICE における最新情報を提供するため、国際会議観光都市のプレゼンテーション及び意見交換会を実施するとともに、施設視察会や財団の活動紹介を行うことにより、誘致に結び付ける。

① 名称：大学教職員・研究者対象 MICE セミナー

② 時期：平成 30 年 8 月（予定）

③ 会場：国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）の MICE 施設

c 観光庁の MICE アンバサダーの活用

観光庁では、MICE を戦略的に誘致するため、国内の産業界、学術分野に対する発信力やネットワークを有する者を「MICE アンバサダー」として委嘱している。MICE アンバサダーの有する人的ネットワークや主催者としての誘致活動の経験を最大限に活用し、千葉への誘致活動を強化する。

また、リード開発や誘致の過程で関係を築いた有力な主催者について、積極的に MICE アンバサダーに推薦する。

d 千葉 MICE Day の実施

主催者対象の千葉 MICE サロンと賛助会員交流会を統合・強化し、主催者と賛助会員が一堂に会する千葉 MICE Day を開催する。セミナーでは、県内の MICE

施設、県・市国際会議開催補助金制度、当財団の支援プログラムやアフターコンベンション（観光・産業視察）、ユニークベニュー、チームビルディング、体験プログラム、地元伝統芸能等の紹介を行い、主催者に MICE 開催地としての千葉県の魅力を訴求するとともに、賛助会員が直接主催者と交流する機会を提供し、千葉県への MICE 誘致及び賛助会員のビジネス機会の拡大を図る。

e ビジット・ジャパン・トラベルマート 2018（受託事業）

- ① 開催時期：平成 30 年 9 月下旬
- ② 会場：東京ビッグサイト
- ③ 参加者：海外各国の旅行会社約 300 社、海外旅行メディア約 30 社、国内観光関係者・事業者約 400 社
- ④ 主催：観光庁及び JNTO
- ⑤ 内容：海外各国の旅行会社約 300 社と国内観光関係事業者が、3 日間にわたり訪日旅行・観光セールスのための商談会を行う。

f 「MICE 誘致施設連絡会議」の実施

MICE 施設、千葉県、国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）及び柏市等と「MICE 誘致施設連絡会議」を開催し、最新の関連情報と課題等について意見交換を行い、関係機関の連携による効果的な MICE 誘致を促進する。

(イ) 海外誘致活動

a IMEX2018 への出展

欧州を中心とした世界の MICE 関係者が一堂に会する見本市「IMEX2018」に出展することにより、MICE 主催者に千葉県の魅力を直接 PR し、千葉県での開催に結び付ける。出展後は、ステークホルダーとの情報共有を図り、継続的にフォローすることで効果を最大化し誘致に結び付ける。

- ① 名称：IMEX2018
(The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)
- ② 会期：平成 30 年 5 月 15 日～17 日
- ③ 会場：ドイツ・フランクフルト Messe Frankfurt
- ④ 主催者：Regent Exhibition, Ltd
- ⑤ 参加者：ホステッド・バイヤー(招待顧客)86 ヲ国 3,942 名(2017 実績)

b IMEX America 2018 への出展

北米を中心とした世界の MICE 関係者が一堂に会する見本市「IMEX America 2018」に出展し、千葉県の魅力を MICE 主催者に直接 PR し、千葉県での開催に結び付ける。出展後は、ステークホルダーとの情報共有を図り、継続的にフォローすることで効果を最大化し誘致に結び付ける。

- ① 名称：IMEX America 2018
- ② 会期：平成 30 年 10 月 16 日～18 日
- ③ 会場：ラスベガス Sands Expo Convention Center

- ④ 主催者：IMEX America Ltd
- ⑤ 参加者：ホステッド・バイヤー(招待顧客)61カ国3,286名(2017実績)

c MICEプランナーズガイド(英語版)の改訂

平成28年度に作成した県内のMICE施設、プレ・ポストコンベンション、ユニークベニュー等の情報を掲載した「MICEプランナーズガイド」の英語版を最新の情報に更新し、制作する。

(ウ) 誘致活動の強化促進(特別対策事業)

国際的なMICE誘致競争が激化する中、海外競合国・都市との厳しい誘致競争に打ち勝つため、千葉の魅力を海外商談会・セミナー等で積極的にPRし、新たに策定したロゴ、タグラインを使用しながら千葉ブランドの知名度拡大に努める。

また、JNTO主催海外商談会にも引き続き出展して継続的な誘致活動を行うだけでなく独自の商談会を開催し、ネットワークの拡充を図っていく。さらに平成27年度に策定したMICEサポートプログラムの周知徹底を図り、MICE開催地としての千葉の魅力を拡充するとともに、千葉県での開催に結び付ける。

a 日本でのJNTO主催商談会(VJMM、VJEA、VJASEAN+India)への参加

(a) ビジットジャパン・東アジア・トラベルマート

- ① 開催時期：未定
- ② 会場：未定
- ③ 参加者：東アジア(中国、台湾、韓国、香港)の旅行会社、海外旅行メディア、国内観光関係者・事業者
- ④ 主催：観光庁及びJNTO
- ⑤ 内容：海外各国の旅行会社約300社と国内観光関係事業者が、2日間にわたり訪日旅行・観光セールスのための商談会を行う。

(b) ビジットジャパン・アセアン+インド+インドネシア・トラベルマート

- ① 開催時期：未定
- ② 会場：未定
- ③ 参加者：東南アジア(タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン)とインドの旅行会社、海外旅行メディア、国内観光関係者・事業者
- ④ 主催：観光庁及びJNTO
- ⑤ 内容：海外各国の旅行会社約300社と国内観光関係事業者が、2日間にわたり訪日旅行・観光セールスのための商談会を行う。

b 海外商談会・見本市への参加

(a) インドネシア・インセンティブ旅行・セミナー(ジャカルタ)

JNTOがインドネシア(ジャカルタ)で実施するインセンティブ旅行主催者(企業・旅行会社)を対象とした商談会に参加することにより、千葉県の魅力を直接PRし、千葉県での開催を働きかける。

同時にこれまで日本でインセンティブ旅行を実施している企業・旅行会社

を訪問し、より深いネットワークを構築して、情報収集の拡大に努め、誘致実績の底上げを図る。

- ① 名 称：インドネシア・インセンティブ・セミナー（ジャカルタ）
- ② 会 期：平成 31 年 1 月（予定）
- ③ 会 場：ジャカルタ
- ④ 主催者：JNTO
- ⑤ 参加者：インセンティブ旅行主催者等

(b) インセンティブ旅行セミナー

JNTO が東南アジアで実施するインセンティブ旅行主催者（企業・旅行会社）を対象とした商談会に参加することにより、千葉県魅力を直接 PR し、千葉県での開催を働きかける。

フォローアップとして、商談会等にて入手した情報をもとに旅行会社を直接訪問して、継続的かつ積極的に千葉県の魅力を訴え、千葉県での開催に結び付ける。

- ① 名 称：インセンティブセミナー
- ② 会 期：未定
- ③ 会 場：未定
- ④ 主催者：JNTO
- ⑤ 参加者：インセンティブ旅行主催者等

(c) ITB Asia 2018 への出展

アジアを中心とした MICE 関係者（特にインセンティブ主催者）が参加する見本市「ITB Asia 2018」に出展し、MICE 主催者に千葉県の魅力を直接 PR することにより、千葉県での開催に結び付ける。

出展後は、ニュースレター等で定期的に情報提供を行い、継続的かつ積極的に千葉県の魅力を訴求し、千葉県での開催に結び付ける。

- ① 名 称：ITB Asia 2018
- ② 会 期：平成 30 年 10 月 17 日～19 日
- ③ 会 場：シンガポール Marina Bay Sands
- ④ 主催者：Messe Berlin Singapore
- ⑤ 参加者：ホステッド・バイヤー（招待顧客）915 名（2017 年）

(d) AIME 2019 への出展

2019 年より主催者が変更になる見本市「AIME2019」に継続出展してアジア太平洋中心の MICE 主催者に千葉県の魅力を直接 PR し、千葉県での開催に結び付ける。

出展後は、ニュースレター等で定期的に情報提供することにより、継続的かつ積極的に千葉県の魅力を訴求し、千葉県での開催に結び付ける。

- ① 名 称：AIME 2019
The Asia-Pacific Incentive and Meeting Expo
- ② 会 期：平成 31 年 2 月（予定）

- ③ 会場：オーストラリア、メルボルン
Melbourne Convention and Exhibition Center
- ④ 主催者：Talk2 Media and Events
- ⑤ 参加者：ホステッド・バイヤー(招待顧客)4,000名以上(予定)

(e) 海外における知事トップセールスに合わせたインセンティブ旅行商談会
知事の海外トップセールスに合わせて千葉県が実施する商談会に参加し、
インセンティブ旅行主催者やメディア等を招待して、千葉県の魅力を直接PR
することにより、千葉県での開催を働きかける。

出展後は、ニューズレター等で定期的に情報提供することにより、継続的
かつ積極的に千葉県の魅力を訴求し、千葉県での開催に結び付ける。

イ 各種助成制度を効果的に活用した誘致・支援

MICEを円滑に開催できるようにするため、MICE主催者及び参加者のニーズに応え、
積極的に開催支援を実施する。開催支援にあたっては、主催者、参加者の満足度を高
めることで、新たなMICEが千葉県で開催されるよう働きかける。

(ア) MICE開催準備にあたってのコンサルティング業務

県内でMICE開催を決定している主催者に対して的確なアドバイスを行い、円
滑な開催を支援する。

(イ) 助成金・貸付制度の運用

開催助成金制度及び開催準備資金貸付制度を効果的に運用し、MICE誘致を推進
するとともに円滑な開催を支援する。

a 開催助成金制度

公共性が高く、経済波及効果の大きいコンベンションのうち、財政面での支
援を必要とするMICE主催者に対し、開催助成金を交付することにより、千葉県
での円滑な開催を支援する(助成金額 最大200万円)。

また、各開催補助金制度(*)を補完する制度としても活用していく。

(*)・千葉県国際会議開催補助金制度

- ・千葉市国際会議開催補助制度
- ・千葉市大規模コンベンション開催補助制度
- ・成田市コンベンション開催事業補助金制度

b 開催準備資金貸付制度

公共性が高く、経済波及効果の大きいコンベンションのうち、コンベンショ
ン開催までの間に、資金を必要とするMICE主催者に対し、希望により、開催準
備資金を貸し付け、千葉県での円滑な開催を支援する(3年間の無利子貸付)。

c 誘致助成金制度の検討

MICE主催者に対して助成金を交付し、海外のキーパーソンへの誘致プロモ
ーション活動(誘致プレゼンテーションやロビー活動、視察受け入れ等)を支援
する制度を新設するための検討を引き続き行う。

(ウ) MICE サポートプログラムの活用

激化する海外競合国・都市との MICE 誘致競争に打ち勝つため、平成 27 年度に制定・導入した MICE サポートプログラム（MICE 主催者に対して、記念品、アトラクションの無償提供等を行うもの）を活用して、より多くの開催情報を MICE 主催者、旅行会社等から入手することにより、誘致実績の拡大を図る。

(エ) 重点 MICE 支援

下記の MICE が円滑に開催されるように支援プログラムを実施するほか、MICE 主催者と地域との連携を調整するなど積極的に支援する。

MICE の名称	開催時期	開催場所	参加予定
ACI アジア太平洋地域総会	2018 年 4 月	東京ベイ幕張ホール (千葉市)	500 人
日本地球惑星科学連合 2018 年大会	2018 年 5 月	幕張メッセ他 (千葉市)	7,000 人
第 13 回エレクトロクロミズムに関する国際会議	2018 年 8 月	千葉大学 (千葉市)	250 人
第 43 回日本足の外科学会学術会議	2018 年 11 月	かずさアーク (木更津市)	800 人
第 29 回 WFB 世界仏教徒会議・第 20 回 WFBY 世界仏教徒青年会議日本大会	2018 年 11 月	マロウドインターナショナルホテル成田 (成田市)	500 人
第 16 回国際航法学会世界大会	2018 年 11 月	幕張メッセ (千葉市)	350 人
日本薬学会第 139 年会	2019 年 3 月	幕張メッセ (千葉市)	8,500 人

ウ 「千葉らしい」 MICE 支援プログラムの開発及び拡充

主催者のニーズに合わせた支援プログラムを実施し、円滑な開催を支援する。

また、新たな支援プログラムを開発し、国内外競合都市との差別化を図る。実施に当たり、一部を有償で実施することにより自主財源の確保にもつなげる。

(ア) ユニークベニユーの開発、利用促進

MICE 主催者の多様なニーズに合わせ、文化施設や公的空間等を利用した会議・レセプション会場等を開発し開催することにより千葉県ならではの魅力を PR する。

(イ) アトラクション（地元伝統芸能等）の実施及び開発

開会式・ディナー・レセプション等の開催時に、主催者からの依頼に応じ、千葉県の伝統芸能等のアトラクションを企画・実施し、演出を支援する。

(ウ) チームビルディングメニュー・体験プログラムを活用した支援

県内施設やイベント会社等と連携し、商談会等において商品として提供できるチームビルディングメニューの情報を収集するとともに、体験プログラムを開発することにより、主催者に対して他都市と差別化を図った支援を実施する。

(*) チームビルディング

複数のメンバーが個々の能力を発揮しながら一つの目的を達成するための組織づくりや、そうした組織をつくるために開発された手法や研修。

(エ) グッズの提供及び企画開発

県内の観光協会等と連携を図り、MICE 開催時に主催者が必要とするグッズ（当財団のオリジナルのコングレスバッグ、記念品等）の品揃えを充実させ、グッズを製作する県内事業者のビジネスにつなげるとともに、千葉県魅力を PR する。また、ステークホルダーと協力して主催者のニーズを研究し、新しいグッズの企画開発に取り組む。

(オ) ボランティアの活用

MICE 主催者のボランティア活用（語学、日本文化等）のニーズに応えるため、国際交流センターと連携を図り、積極的にボランティア（語学、日本文化等）に活動の場を提供する。

(カ) インフォメーション・コーナー及び物産コーナーの設置手配及び充実

千葉県の魅力を紹介するためのインフォメーション・コーナー設置を主催者に働きかける。また、MICE 開催時に要望の多い物産コーナーの設置について、千葉県観光物産協会、千葉市観光協会等と協力しながら積極的に支援を行い、地場産業の発展に寄与する。

(キ) MICE ロゴマーク入りギブアウェイの作成

ブランディングの一助として、MICE ロゴマーク入りギブアウェイを作成し、視察時などに主催者及び関係者へ配布する。

(ク) 上記のほか、プレスリリース等マスメディアを通じた開催の告知、電光掲示による開催案内の実施、シャトルバスの運行など、様々なメニューを活用して円滑な開催を支援することにより、千葉県の PR に努める。

エ 国際会議観光都市との連携

グローバル競争に打ち勝つため、JNTO、県内の国際会議観光都市(*)（千葉市、成田市、木更津市、浦安市）及び各市のステークホルダーと連携して誘致活動（見本市出展、キーパーソンの招聘等）を実施し、開催へ結び付ける。

誘致活動の報告の場として 4 市担当部署課長会議を開催し、事業の進捗状況等の報告を実施するとともに、平成 28 年度よりステークホルダーと開始した出張報告等を含んだ誘致研究会を更に充実して連携強化を図る。

(*) 国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。

(ア) 海外における国際会議主催者セミナーへの参加

JNTO が海外で主催する国際会議主催者を対象としたセミナー及び商談会に参加し、国際会議開催地としての千葉の魅力、支援内容を直接会議主催者に PR して誘致・開催へ結びつける。

- ① 名 称：国際会議主催者セミナー（年 2 回開催）
- ② 会 期：平成 30 年 10 月（予定）
- ③ 会 場：シンガポール（予定）

(イ) 海外におけるインセンティブ旅行セミナーへの参加

JNTO が台湾とタイにおいて、インセンティブ旅行を取扱う旅行会社キーパーソンを対象として主催するセミナー及び商談会に参加し、インセンティブ旅行開催地としての千葉の魅力や支援内容を旅行会社に PR して誘致・開催へ結びつける。

- ① 名 称：インセンティブ旅行セミナー
- ② 会 期：平成 30 年 8 月台湾（予定）
平成 31 年 2 月タイ（予定）
- ③ 会 場：台湾 台北、台中（予定）
タイ バンコク（予定）

(ウ) JNTO 主催国際会議キーパーソン招請・商談会

JNTO が海外の学会本部のキーパーソンを日本へ招聘する事業を実施するため、その商談会に出展する。また、招聘されたキーパーソンのうち国際会議を千葉県で開催する可能性がある案件を持つ者を対象とした県内施設等の視察受け入れを実施して、その魅力を直接 PR し、開催に結びつける。

- ① 名 称：Meet Japan 2018
- ② 時 期：平成 31 年 3 月（予定）

(エ) 第 28 回国際 MICE エキスポ(IME2019)（見本市）への出展

観光庁・JCCB・JNTO が主催する国内唯一のコンベンション関連展示会「IME2019」へ出展することにより、コンベンション開催地としての千葉県を主催者へ積極的に PR し、開催に結びつける。

- ① 名 称：第 28 回国際 MICE エキスポ
- ② 会 期：平成 31 年 2 月末（予定）
- ③ 会 場：東京都内（予定）

(*) JCCB

Japan Congress Convention Bureau（一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）の略。

我が国のコンベンションをより一層振興させることを目的に、国際観光振興会、国際会議観光都市、コンベンション・ビューロー等により設立された組織。

(オ) インセンティブ旅行キーパーソン招請・商談会

インセンティブ旅行主催者等のキーパーソンを県内施設等と共同で千葉県へ招

請して、県内施設や体験プログラム、ユニークベニュー等を紹介し、直接その魅力をPRすることにより開催に結びつける。

- ① 名称：インセンティブ旅行キーパーソン招請・商談会 2018
- ② 時期：未定

(カ) ビジット・ジャパン・MICE マート (VJMM) への出展

ツーリズム・エキスポ・ジャパンと同時に開催される VJMM に出展し、MICE 主催者との商談を実施すると同時に、トラベル・マート (VJTM) 参加の旅行会社に対しても MICE 開催地ちばをアピールする。

- ① 名称：ビジットジャパン MICE マート
- ② 時期：平成 30 年 9 月
- ③ 会場：東京ビッグサイト

(3) 誘致マーケティングの強化

ア 有力な MICE 誘致案件の情報収集・整理

MICE 誘致に係る顧客や会議等の情報を一括管理しているデータベースの老朽化・複雑化に対応し、長年蓄積してきた貴重な情報を保護・活用するため、新たなデータベースシステムを構築し、マーケティング強化を図る。

また、インターネットによる情報や、関連団体である ICCA、PCMA(*)、SITE(*)、JNTO、JCCB、大学・研究機関関係者、学会、協会等から得た開催情報等を収集・整理するとともに、リード開発手法を駆使してターゲットリストを適宜更新し、ステークホルダーとの情報共有を図る。

(*)PCMA(Professional Convention Management Association)

北米を中心とするミーティングプランナー及びサプライヤー（ビューロー、MICE 施設等）の会員からなるコンベンション専門家の協会。本部は米国シカゴにあり、会員は約 6,000 名

(*)SITE(Society of Incentive Travel Excellence)

29 の支部、会員 2,000 名からなるインセンティブ旅行に関するイベント等を企画・運営する企業や専門家が属する団体。本部は米国シカゴ。

イ グローバル MICE 都市事業

平成 27、28 年度に取り組んだ「グローバル MICE 強化都市事業」の成果を MICE 誘致に活かすため、戦略的なマーケティングを進める。

特に MICE 誘致を進めるうえで不可欠な「ステークホルダー（関係者）」との連携強化を図っていく。

また、千葉のブランドの発信にあたっては、同事業で開発したタグライン「CHIBA JAPAN Convenient Conventions」及び MICE ロゴマークを有効に活用する。

ウ 県内で開催される MICE 関連統計の整備

県内で開催される MICE の件数、種別、参加人員等のデータを都市別、施設別に担当

者を配置して確実にデータ収集を行い、県内での開催状況を把握するとともに、JNTO 国際会議統計や当財団のホームページ等を通じて公表する。

エ 総会・研修会・セミナー参加、各種団体への加入

ICCA、観光庁、JNTO、JCCB、大学及び各種団体等の研修会・セミナー等に参加し、職員がその能力に合わせて、プレゼンテーションや立候補書類作成などについての技術の修得と資質の向上を図るとともに、ビジネス交流会等に参加し、最新の MICE 動向に関する情報収集やネットワークの強化に努める。

(ア) ICCA 総会、ICCA アジア太平洋チャプタービジネスワークショップ

a ICCA 総会

ICCA（国際会議協会）総会に参加し、世界各国から集まったスペシャリストと積極的にネットワーキングを図り、「国際基準の MICE 知識」や「海外競合都市」の最新情報を収集する。また、国際会議案件の情報交換を通じて、千葉県での開催に結び付ける。

① 名 称：第 57 回 ICCA コングレス

② 会 期：平成 30 年 11 月頃

③ 会 場：ドバイ市（アラブ首長国連邦）

b ICCA アジア太平洋チャプタービジネスワークショップ

ICCA 主催の商談会に参加し、直接主催者と面談し情報収集、誘致活動を行う。

① 会 期：平成 30 年 9 月

② 会 場：西安市（中国）

(イ) 観光庁、JNTO、JCCB 等研修会

(ウ) JCCB コンベンションビューロー部会

(エ) 一般社団法人日本コンベンション協会（Japan Convention Management Association-JCMA）、MPI（ミーティング・プロフェッショナルインターナショナル）等のセミナー

2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

(1) ネットワーク化事業

国際交流・国際協力を促進し、多文化共生の社会づくりを展開するため、地域における重要な支援者であるボランティアの登録、紹介を行い、県全域における草の根レベルによる活動を支援する。

また、ボランティアの資質や実践力の向上、県民等の国際理解の促進などを目的とした講座を、ホームページや広報紙等を活用した広報により募集し、幅広い参加を得て開催する。

なお、ボランティアや地域の国際交流協会、民間交流団体、行政機関等が情報交換や意見交換を行うための会議の開催や、交流の場の提供等を行うとともに、国際交流・協力団体の活動状況の把握に努め、関係者とのネットワークの形成を図る。

ア 国際交流ボランティア制度の運営

(ア) 国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業への積極的な参加を希望する県民を対象に、ホームページ等で常時呼びかけ、次のカテゴリでボランティアを登録し、活動の場を紹介する。

- a 語学ボランティア（通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図る。）
- b ホストファミリーボランティア（外国人を家庭に招待して国際交流を図る。）
- c 文化ボランティア（趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図る。）
- d 日本語ボランティア（外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図る。）
- e 事業ボランティア（国際交流や多文化共生に係る行事、イベント等の支援や災害時等における外国人支援を行う。）

(イ) 多文化共生サポート制度の運営

医療、福祉、教育等による生活支援を緊急に必要とする県内の在住外国人に対し、語学ボランティアなどを紹介するとともに、必要に応じ、ボランティア活動費の支援を行う。

イ 多文化共生ボランティア養成研修事業

(ア) 日本語ボランティア事業

千葉県全域の地域日本語教室の活動に係る調査を行って分析し、実態を把握するとともに、日本語ボランティア基礎講座、日本語ボランティア・スキルアップ講座、外国につながる子供のための日本語ボランティアの集いを実施する。また、地域日本語教育コーディネーターとして、県内の未設置の市町村において、日本語教室の立ち上げ支援に係る活動等を行う。

a 日本語ボランティア基礎講座

在住外国人に対し日本語を教えながら交流しようとする県民や県内のボランティアを対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座を、日本語指導者等を招いて実施する。

県内で日本語ボランティアが比較的少ない地域での開催を検討し、日本語ボ

ランティアの地域的バランスを図っていく。

b 日本語ボランティア・スキルアップ講座

県内で活動する日本語ボランティアや関心のある県民を対象に、在住外国人への日本語指導に向けた更なる資質向上を目指すための実践的な講座(児童、大人向け)を、日本語指導者等を招いて実施する。

c 外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い

県内において、日本語を母語としない外国人児童等へ日本語指導を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を行うための会議を行う。

(イ) コミュニティ通訳研修

語学ボランティアや日本語ボランティアなどを対象に、外国人が生活する上で必要となる基本的事項(出入国や行政手続など)についての知識を学ぶ研修を、専門家等を招いて実施する。

さらに、具体的、実践的な事例に基づき、ロールプレイを通して相談対応や通訳手法などについて学ぶ研修を実施する。

(ウ) 通訳ボランティア養成講座(受託事業)

東京オリンピック・パラリンピックに向け県内での支援体制の充実を図るため、また県内の外国人住民の支援を担う人材を育成するため、千葉県から受託した通訳ボランティアを養成するための講座を行う。

各種講座受講者数(目標)

	国際理解促進のための講座	ボランティア向けの人材育成講座
平成30年度	3講座、300人	9講座、340人

ウ 国際理解セミナー事業

(ア) 国際理解セミナー

県民、民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招き、ホームページをはじめ、各種広報手段を活用し、広く参加を呼び掛け、実施する。

(イ) 国際協力パネル展

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施する。

(ウ) 国際フェスタCHIBA

国際交流・協力事業への県民理解を深めるとともに、国際交流・協力団体間のネットワーク等を図るため団体等と連携して実施する。

エ ちば出前講座

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を行うため、在住外国人やJICAボランティアOB/OGを講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国で

の体験等を伝える講座を、JICA（国際協力機構）と連携して実施する。

オ 様々な主体との交流・調整事業

(7) 国際交流・協力等ネットワーク会議

県内の民間交流団体や地域の国際交流協会等を対象に、千葉県国際交流センターによる実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議を関係機関と合同で開催し、団体相互の連携を促進することにより、地域におけるネットワーク化を推進する。

(イ) 相談事業意見交換会

日ごろ、県内の在住外国人からの生活相談等に応じている地域の国際交流協会や市町村等の相談担当者を対象に、相談に役立つ知識の習得や情報の共有及び意見交換を行い、県下全域でのネットワークの強化を図る。

(ウ) 外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い（再掲）

県内において、日本語を母語としない外国人児童等へ日本語指導を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議を行う。

カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や研修、交流、国際関連情報提供等の場となる国際交流サロンを運営し、研修室や資料コーナー等の場を提供して活動を支援する。

(2) 情報提供事業

県内の民間交流団体等の活動、在住外国人のための生活情報や千葉県国際交流センターの事業などを県民、在住外国人や団体等へ、印刷物やホームページ、Facebook、メーリングリストにより提供し、国際交流・協力、多文化共生の啓発や活動促進につなげていく。

特に、ホームページ及びFacebookについては、在住外国人等に対し、より機動性が高く、有用な情報提供を行っていく。

ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

(7) 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの実施事業や、県内の民間交流団体の活動等を紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげるため、県民や県内の民間交流団体、ボランティア等を対象に、会報「国際交流つうしん」を発行する。（年3回発行、ホームページにも掲載）

(イ) 「国際交流伝言板」の発行・配信

県内の民間交流団体や行政機関などによる国際交流等関係事業（イベント・募集事業など）を「国際交流伝言板」として取りまとめ、県民や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4か国語（日・英・中・スペイン）によりホームページ

上で随時情報提供を行う。

あわせて、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集！伝言板」についても、ホームページで配信をするとともに、賛助会員向けに紙媒体での発行を年3回行う。

(ウ) ホームページによる情報提供

千葉県国際交流センターのホームページを運営し、次のような内容を掲載することにより、県民や在住外国人、民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とする。

(主な内容)

災害等に関する最新情報、県内の在住外国人への生活情報や相談業務、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室等の状況、国際協力情報、会報 など

(エ) メーリングリストの運営

県民や県内の民間交流団体やボランティア等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するため、メーリングリストを運営する。

(オ) Facebook の運営

オンラインでより手軽に情報発信ができる Facebook を活用し、賛助会員や国際交流団体及び広く一般のユーザーに情報を発信する。

イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、千葉県と連携するとともに、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会千葉県本部の協力を得て、住宅に関する情報提供や助言を行う。

(3) 在住外国人支援事業

県や専門家、ボランティア等と連携して、外国人テレホン相談や無料法律相談などを実施することにより、県内において増加や定住化の傾向が見られる在住外国人に対して、悩みの解決や安全・快適な生活に向けた支援を行う。

ア 外国人テレホン相談事業（受託事業）

県内在住外国人が安全で快適な生活を営むことができるよう、4か国語（日・英・中・スペイン）対応の「外国人テレホン相談」を千葉県から受託して実施する。

受託に当たり、十分な語学力や相談対応力を有する千葉県国際交流センターの国際交流推進員を活用し、これまでの相談対応実例や人的ネットワーク等の蓄積を生かしながら、効果的かつ速やかに事業を遂行していく。

イ 在住外国人のための無料法律相談

県内の在住外国人が抱える生活上の問題における法的解決を支援するため、千葉県弁護士会及び千葉県行政書士会と協力して、法律相談を毎月実施する。

ウ 緊急時支援

災害時に多言語による情報提供等を行う災害時多言語支援センターの設置を検討するとともに、千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、以下の事業を展開し、安心・安全な生活を確保する。(再掲を含む。)

(7) 災害時外国人サポーター養成講座

市町村、市町村国際交流協会やボランティア団体等と連携し、災害発生時に支援者として活躍できるサポーターを養成する研修を、県等と共催で開催する。

(イ) ホームページ等を活用した多言語による情報提供

平時より日ごろの備えなどの防災情報を多言語でホームページに掲載する。災害時には、自治体国際化協会、関東地域国際化協会連絡協議会等と連携し、災害情報をホームページ等に掲載して多言語で情報提供を行う。

エ 「学校からのおたより」の発行

日本語を母語としない児童及び保護者に日本の学校教育システムの理解を促すと同時に、学校関係者と保護者の相互理解を深めることを目的として、学校システムの概要及び保護者あての連絡文書集を7か国語(言語:英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語)に翻訳し、小学校、中学校などに配布するとともに、ホームページに掲載等して情報提供をする。

(4) 国際交流・協力、多文化共生事業に寄与する事業の積極的な受託

在住外国人が地域社会の一員として県民との相互理解を促進することを目的とする事業は、国際交流・協力、多文化共生社会づくりに大いに寄与することから、積極的な受託に努める。

ア 通訳ボランティア養成講座(受託事業)【再掲】

東京オリンピック・パラリンピックに向け県内での支援体制の充実を図るため、また県内の外国人住民の支援を担う人材を育成するため、千葉県から受託した通訳ボランティアを養成するための講座を行う。

イ 外国人テレホン相談事業(受託事業)【再掲】

県内在住外国人の生活上の悩み等に広く応じ、安全で快適な生活を支援するため、4か国語(日・英・中・スペイン)対応の「外国人テレホン相談」を受託により実施する。

受託に当たり、十分な語学力や相談対応力を有する千葉県国際交流センターの国際交流推進員を活用し、これまでの相談対応実例や人的ネットワーク等の蓄積を生かしながら、効果的かつ速やかに事業を遂行していく。

3 MICE 適地「千葉」ブランドの確立

(1) 「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ確立のため、ブランディングの成功事例等に関する情報収集に努めるとともに、千葉県が本来持っている魅力的な資源の発掘、プログラム化を図り、国内外に発信する。

ア MICE ロゴマーク及びタグラインを活用した千葉に対するイメージの定着化

イ 千葉独自のユニークベニュー、アトラクション、体験プログラム、プレポストコンベンションツアー、チームビルディングメニュー等の開発（再掲）

ウ 広報媒体等（和文及び英文）を活用した千葉ブランドの発信

- (ア) 財団ホームページの活用
- (イ) 誘致ツール（プレスキット、プランナーズガイド、ニュースレター、名刺、名札、ギブアウェイ）の作成
- (ウ) 自治体と連携した広報
 - ・知事、市町村長の臨席、挨拶、招請状
 - ・県、市町村のホームページとのリンク
- (エ) MICE 誘致のための企画提案、プレゼンテーション、ネットワーキング
- (オ) 賛助会員向けニュースレターの発行
賛助会員に当財団の活動報告、最新の MICE 関連情報、会員活動等の情報を定期的に配信する。（年 3 回程度）
- (カ) メールマガジン
MICE 主催者や JNTO、メディア等に千葉県及び当財団の情報を定期的に配信し、海外での千葉県の認知度を高め、メディアへの露出を図る。（配信数 2,800 件）
- (キ) 重点 MICE 案件事例の紹介
千葉県で開催した重点 MICE 案件の誘致から決定までのプロセス、施設の利用方法、地域でのおもてなしの内容、ユニークベニュー等をケーススタディーとして取りまとめ、MICE の取組みを紹介する誘致ツールとして活用する。
- (ク) MICE 開催に関するプレスリリース
当財団の活動成果や MICE 情報を国内外の報道機関に積極的に発表して各メディアへの掲載を働きかけることにより、千葉県での MICE 誘致の重要性・メリット、地域への経済波及効果等を広く周知し、千葉県での MICE 開催を促進する。
（随時発信）
- (ケ) JNTO が発行するニュースレターへの掲載（海外向け）
- (コ) 学会・業界専門誌、MICE 専門雑誌への掲載
- (サ) 千葉県内で開催する MICE のホームページとのリンク
- (シ) 大学、研究所、病院、学協会本部の広報ツールの活用（イントラネット、出版物（専門の機関紙等）、構内掲示板へのポスター掲出）

(2) 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）

映像制作プロジェクトを地域に誘致し、ロケーション支援を行う「千葉県フィルムコミッション」の運営事業を受託する。

- ・「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業 補助金制度」に係る運営業務
映画等の撮影を行う制作会社に対してロケーション費用を助成する「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金制度」に係る業務を受託し、千葉県の様々な魅力を広く発信することにより、知名度の向上、県内経済の活性化及び観光客誘致を図る。
- ・映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務、その他の撮影支援。特に、フィルムツーリズムを効果的に促進するため、より地域PRにつながりやすい映画・ドラマ作品等への支援を積極的に行う。
- ・市町村での撮影に関する調整、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための意見交換会の開催

<目標値>

内容	平成30年度目標
撮影依頼	200件以上
撮影支援	48件以上

(3) 千葉ロッテマリーンズかもめ会事業

千葉県経済界として千葉ロッテマリーンズ球団の活動を支援、応援し、球団と千葉市民・県民との絆と連携を深め、プロ野球の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的とする同会の事務を行う。

なお、当会の運営は、県内外の経済界と広く関わり、また、千葉県、千葉市とも強固な協力体制を持つ当財団でなければできない事業であり、地元企業・団体との連携を一層強め、協力体制を構築できる等、当財団運営との相乗効果が図られる。

- ・激励観戦会（年4回（うち家族応援デー1回））
- ・会員の集い
- ・機運醸成（横断幕掲示等）
- ・春季キャンプ激励訪問等

4 効率的な事業運営の推進

(1) 効率的な事業運営を図るための組織体制を整備

(2) 自主財源確保の強化

ア 賛助会員の獲得

各種媒体や異業種交流事業による当財団の存在意義や活動内容・業務成果のPRを通じて、賛助会員の理解を得られるような事業展開を図り、賛助会員の維持及び獲得を目指す。

イ 寄附金の募集

税制上の優遇措置のPR等により、寄附金の募集について検討する。

ウ 市場動向を見極めた安全・確実な基本財産運用を行う。

(3) 人材育成

内外の研修等を活用し、能力開発を図るとともに、継続的な人的ネットワークの強化、後継者の育成に努める。

(4) 経費削減

事務事業の見直しにより、事務経費の削減に努める。